

高床式砂栽培農業（人・環境に優しい軽労化農業）

概要

高床式砂栽培農業とは、栽培床を高床構造にすることで作業者の足腰の負担を軽減し、高齢な方や身体に障がいを持った方も栽培に取り組むことが出来ます。また土ではなく透水性、通気性の良い砂を用いることで作物の根の健全性を維持しつつ、一定の負荷を与えることで野菜本来の味を引き出すことが出来る栽培方法です。

特徴

- 栽培ベッドは高床構造なので腰を曲げずに作業が出来ます。車椅子の方でも作業できる構造で多くの福祉施設にも導入いただいています。
- 砂栽培装置、栽培管理マニュアルを用いることで栽培経験がない方でも簡単に野菜作りが出来ます。
- 砂栽培装置、栽培管理マニュアルを用いることで栽培経験がない方でも簡単に野菜作りが出来ます。

今後の展開

- 近年は高床式砂栽培設備を導入する一般企業様が増加しており、高齢・障がい者雇用問題、都市近郊型農業の活性化を目的として参画されています。今後はバリアフリーに特化した温室、栽培設備の開発に取り組み、砂栽培を通じて障がいをお持ちの方にも生産性の高い農業を実践していただけるよう取り組んでいきます。

テーマ「Society5.0への貢献～サイバーとフィジカルの融合に向けて～」との関連

- 温度・湿度・日射量・砂培地水分量・地温・ECといった環境データと栽培記録（給水量・施肥量・作物の成長）から、砂栽培に特化した栽培技術構築に取り組み、水・肥料の節約、機能性成分豊かな野菜作りを目指します。

